

# 蔵王の森だより

マンスリータイムズ 2019年8月  
和歌山県立和歌山北高等学校西校舎  
Tel.453-1281



## ☆ 就職ミスマッチを防ぐ



夏休みも終わろうとしています。3年生にとっては、就職補習、進学補習に始まり、そして応募前職場見学にと進路実現に向けて気の抜けない夏休みでした。応募前職場見学は、就職する生徒達にとって、入社後のミスマッチによる早期離職を防ぐ上で、非常に重要なものとなっており、本校舎では就職希望者は、全員必ずどこかの企業に見学に行くことになっています。また、本校には、就職指導員が配置されています。就職指導員の橋本澄三さんは企業回り、求人開拓に熱心に取り組んでくださり、さらに、進路指導室での生徒達と進路指導部教員との日常の会話に対して高くアンテナを張り、生徒の個性、能力に合った企業をコーディネートして下さっています。職場見学への全員参加、就職指導員の活躍は、本校卒業生の離職率を下げる大きな柱となっています。



## ☆ 介護現場から学ぶ



本校舎では、「介護福祉基礎」という科目が普通科3年生選択科目として開講されており、今年度は25名の生徒が受講しています。授業では、尊厳を支える介護について、介護従事者の倫理、高齢者・障害者の生活と支援などの内容を取り扱い、障害者理解、高齢者理解を深めようとしています。また、7月12日（金）には、介護現場の実際の様子を生徒達に知ってもらうため、「医療法人彌栄会 介護老人保健施設 やよい苑」さんのスタッフの方々により特別授業を行っていただきました。前半は、施設の設備、季節ごとのイベント、仕事内容等を中心に説明していただきました。餅は喉に詰まらせないようにぼろ餅にしたりであるとか、話すときはしゃがんで目線を合わせる、シーツはピンと張ると体がマットにフィットしないので、しわは伸ばすが、張りすぎないようにするなど、利用者の方ができるだけ健康で楽しく過ごせるように様々な工夫や配慮がなされていることを学びました。後半は、誤嚥防止のためにとろみをつけたお茶を実際に飲ませていただき、普通のお茶にとろみをつけただけなのに、私たちの口には非常に飲みづらい味になることには目から鱗でした。また、大変貴重な歩行リハビリテーション



向け外骨格パワードスーツを装着しての歩行体験もさせていただきました。

「日常生活動作」の支援のみにとどまらず、利用者の「生活の質」を向上させる介護を目指した施設の方々の日々の努力には生徒、教師共に敬服しました。